



図書館まつりで 本に親しむ



5月1～9日、市立図書館で「図書館まつり」が行われました。これは市立図書館が毎年開催しているイベントで、恒例のブックリサイクルのほか、まが玉作り体験や読み聞かせグループ「おはなし文庫Po絵夢」による緑陰おはなし会、子ども映画会など様々な催しを実施。会場は熱心に古本を探す人や、真剣にまが玉を作る子どもたちなどでにぎわうなど、イベントを通して本に親しみました。

本市のDXを推進 するために



4月25日、小林圭介こばやし けいすけ氏を「鹿屋市DX推進本部副本部長兼CXO（最高変革責任者）補佐官」に委嘱しました。DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術によって人々の生活をより良いものへと変革する取り組みのこと。同氏はデジタル技術等を利用した便利で快適な行政サービスの提供など本市のDX推進について、助言や職員研修等を行っていく予定です。

こどもの日に鹿屋 のよかもんを満喫



5月5日、大隅広域公園大隅アリーナ21（肝付町）で地域密着マルシェ「こども記念日」が開催され、食や雑貨など92事業者が参加しました。このうち市内23事業者が、自分たちで開発した商品「鹿屋よかもん」の認知度向上のために「鹿屋よかもん横丁」を出店。当日は事業者が商品の魅力を直接説明しながら販売し、訪れた人は生産者と交流したり、食事や買い物を楽しみました。

5年ぶりのリナ フェスタが大盛況



5月3日、リナシティかのやで「リナフェスタ2024」が開催されました。5年ぶりの開催となる今回は「とっておきの音楽祭inかのや2024」や「KANUYAトレカFES」のほか、茶道体験や提灯絵付け体験会などのイベントを実施。1階では菓子工房ボンヴィヴオンによる10メートルロールケーキが振る舞われ、写真撮影の後、来場者たちはおいしいケーキに舌鼓を打ちました。

ゴーヤの苗を 952株寄贈



5月13日、鹿屋ライオンズクラブからゴーヤの苗が贈られました。これは、つる植物等を植えることで窓からの日差しや、葉の蒸散効果で室温上昇を抑える「グリーンカーテン」に活用してもらおうと毎年配布しており、市内小中学校へ合計952株を寄贈。同クラブの濱田 徹はまたとおる会長は「この苗を育てていただいて、環境問題等を考えるきっかけになればうれしい」と語りました。

台湾の小学生が 田崎小学校と交流



5月9日、台湾イーシュエ小学校の児童や関係者が田崎小学校を訪れました。これは、英語交流を図るために本市が実施している「グローバル教育推進事業」の一環として訪問したもので、16人の児童が来日。子どもたちは田崎小学校の児童たちによる合唱などの歓迎を受けた後、各クラスに分かれて体育や英語といった授業への参加や日本の給食を体験するなど、交流を行いました。